

平成24年度日本小児外科学会
第4回定例理事会議事録

日 時：平成 24 年 10 月 31 日（水） 10：00～15：00

会 場：静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」10 階 1002

出席者：田口智章（理事長）、仁尾正記（副理事長）、岩中 督（理事・会長）濱田吉則（理事・副会長）、葦澤融司、前田貢作、北川博昭、窪田正幸、松藤 凡（以上理事）、窪田昭男、橋本 俊、土岐 彰（以上監事）、小室広昭（庶務委員長）、菱木知郎（庶務副委員長）、吉澤穰治（財務会計委員長）、渡井 有（財務会計副委員長）家入里志、杉山正彦（以上庶務委員）、村上 聡、堀口裕輔（以上事務局）

議 事：

1. 第4回定例理事会の議事録署名人は、仁尾正記副理事長、前田貢作理事とした。
2. 平成24年度第4回定例理事会議事録につき、濱田副会長より第51回学術集会では市民公開講座は開催しないこととしたため、議事録から開催予定を削除する指摘があり、当該訂正を含めて全会一致にて承認された。

3. 報告事項

田口理事長より以下の報告があり、了承された。

1) 理事長報告（田口理事長）

- (1) 日本医学会からの DVD「第 142 回シンポジウム&第 28 回総会会務記録」を受領した。
- (2) 難病のこども支援ネットワークからの冊子「がんばれ！VOL. 134&全国フォーラム 2012」を受領した。
- (3) 日本医師会からの通信文「診療に関連した予期しない死亡の調査機関設立の骨子（日医案）案文の提示」を受領した。
- (4) 日本専門医制評価・認定機構からの資料「専門医の在り方に関する検討会」を受領した。
- (5) 日本生化学会からの通信文「公益社団法人移行の挨拶状」を受領した。
- (6) 日本小児科医会からの寄贈本「日本小児科医会会報第 43 号」を受領した。
- (7) 日本がん治療認定医機構からの寄贈本「がん治療認定医教育セミナーテキスト第 6 版」を受領した。
- (8) 日本小児救急医学会からの通信文「ガイドライン作成の支援協力依頼」につき、審議の結果、承認された。
- (9) 日本医療安全機構からの通信文「安全情報 警鐘事例の案内書」を受領した。
- (10) 日本医学会からの冊子「日本医学会だよりNo.48」を受領した。
- (11) 乳幼児精神保健学会からのチラシ「第 15 回学術集会兵庫大会案内」を受領した。
- (12) 日本専門医制評価・認定機構からのチラシ「第 4 回市民健康フォーラム案内」を受領した。
- (13) 外科関連専門医制度委員会から「第 50 回総会議事録修正箇所案内」を受領した。
- (14) 日本周産期・新生児医学会からの通信文「早期母子接触実施の留意点の周知に関する

る要望書の提出」について、田口理事長より、前回理事会にて承認された要望書を厚生労働省へ提出したことが、報告された。

- (15) がんの子どもを守る会からのチラシ「第 17 回公開シンポジウム案内」を受領した。
- (16) 日本医療機器産業連合会からの冊子「医機連ニュース Vol. 79」を受領した。
- (17) 日本小児科学会からの通信文「重篤な疾患を持つ子どもの医療をめぐる、話し合いのガイドライン」を受領した。
- (18) 日本小児科学会からの通信文「継続できる質の高い小児医療提供体制に向けて」について、田口理事長より、資料に基づき説明があり、当該事業は小児診療体制の充実をはかり、こどもの健康を推進するために重要な事業であるため、本会も情報共有および情報発信に加われるように要望していくことが提案され、承認された。ただし、具体的な要望内容については、田口理事長より改めて持ち回り審議を行うこととなった。
- (19) 日本医学会分科会臨時協議会報告につき、田口理事長より資料に基づいて、報告があり、了承された。

2) 秋季シンポジウム小委員会報告（仁尾委員長）

仁尾委員長より、資料を基に、以下説明があり、了承された。

- ・ 第 31 回秋季シンポジウムは、テーマを「難治性良性軟部腫瘍（仮題）」とすることとなったが、会長のノミネートについては継続審議事項となった。
- ・ 将来の取り組みとして、アジアの BAPS という位置づけで秋季シンポジウムを海外（アジア）で開催することが提案され、継続審議事項となった。

4 審議事項

1) 第50回学術集会について（岩中会長）

岩中会長より、資料を基に、スケジュール案およびプログラム内容の説明があり、承認された。

	午前	午後	夜
5月29日	理事会	評議員会 記念式典 WOFAPS 理事会など	記念祝賀会
5月30日	記念座談会（The Role of Scientific Journal in Pediatric Surgery）シンポジウムなど	理事長講演 会長講演 招待講演 一般演題（ポスター含む）	
5月31日	教育講演 シンポジウムなど International Session 一般演題	特別講演 教育講演 シンポジウムなど International Session 一般演題（ポスター含む） 倫理セミナー	会員懇親会

6月1日	教育講演 シンポジウムなど International Session 一般演題	特別講演 シンポジウムなど 一般演題（ポスター含む） 国際協力セッション	内視鏡セミナー 卒後教育セミナー
6月2日	卒後教育セミナー	卒後教育セミナー	

PALSは前週末に東機質にて開催予定

6月2日の卒後教育セミナーはNSビルにて開催予定

市民公開講座は開催しない

会長招宴は120～130名程度の規模 5月30日夜

招待者：名誉会員・特別会員、理事・監事、会長経験者、海外招待者

2) 第51回学術集会について（濱田副会長）

濱田副会長より、日程・会場および運営の報告があった。

学術集会	2014年5月8日（木）から10日（土）
理事会・評議員会など	2014年5月7日（水）
卒後教育セミナー	2014年5月10日（土）、11日（日）
市民公開講座	開催しない予定
会場	大阪国際会議場（大阪市北区中之島）
運営	学会支援機構

3) 第28回秋季シンポジウムについて（堀本会長）

堀本会長より、準備状況が報告され、了承された。

4) 庶務委員会（小室庶務委員長）

小室庶務委員長より会員動向について、以下の報告があり、承認された。

2012年9月末現在の会員数は、評議員を除く正会員1,929名（うち海外4名）、評議員289名、名誉会員55名（うち海外9名）、特別会員62名（うち海外1名）の合計2,335名である。

5) 財務会計委員会（吉澤財務会計委員長）

吉澤委員長より2012年度会計中間報告は次回理事会にて、報告できるよう準備中であることが報告された。

6) 各種委員会報告および審議事項

(1) 機関誌委員会報告

北川担当理事より、資料に基づき、以下の通り報告された。

- ・10月11日付で、J-Stageより本会機関誌の搭載決定通知が届いた。今後、機関紙をJ-Stageに掲載する際の閲覧制限をするかどうかにつき、審議の結果、制限をかけず

発刊当初より公開することとなった。また、会告については、ホームページに掲載していくこととし、内容更新時にはメール配信にて会員へ周知すべきことが確認された。

- ・機関誌紙媒体を廃止するタイミングについて、審議の結果、経費削減の観点からも、48巻2号から廃止していく予定が妥当であるということとなった。ただし、機関誌廃止後も紙媒体を要望する会員へは追加費用1万円を2013年度より請求していくこととする。なお、名誉会員および特別会員へも機関誌紙媒体の追加費用1万円を請求していくこととする。
- ・研究会の抄録掲載料については、電子化された後もこれまでと同額を請求していくかどうかについて、継続審議事項となった。

(2) 国際・広報委員会

田口理事長より資料に基づき、以下の通り報告され、承認された。

- ・2016年の第25回AAPSの会長を田口智章理事長が務めることとなった。
- ・11月21日に開催されるカンボジア小児外科学会にて、日本からボランティアで田口理事長・窪田昭男監事・奥山宏臣評議員が発表する予定である。

(3) 保険診療委員会

窪田担当理事より2014年度診療報酬改定に向けての要望内容が資料に基づき、報告があり、承認された。

(4) 教育委員会

松藤担当理事より資料に基づき、以下の報告、提案があり、承認された。

- ・第29回卒後教育セミナーについて、司会については各委員が分担するように修正されたプログラム案が提案され、承認された。
- ・困った時の相談掲示板につき、実際の運用画面(案)、運用方法および注意事項が提示され、承認された。

(5) 悪性腫瘍委員会報告

前田担当理事より以下の通り報告され、承認された。

- ・2011年次登録調査は10月31日を回収締切として現在集計中である。
- ・追跡調査(2001-2005登録症例)については、地区センター毎に回収、入力を行い、2012年8月末までに委員長宛に送付し、その後各追跡担当者に9月中旬までに送付して解析を開始することとした。現在委員長のもとで集計業務が進行中。追跡調査データの解析内容に関しては、例年通り、2013年3月末までに最終型にすることを目指している。

(6) 学術・先進医療検討委員会報告

濱田担当理事より以下の通り報告され、承認された。

- ・現在第 49 回演題集を入力中である。
- ・第49回の優秀ビデオ10作品中9作品を9月11日に公開し、第47回、第48回と合わせて現在29のビデオを公開中である。
- ・2012年度科研費採択結果の集計について、アンケート準備中である。
- ・会員対象のアンケート調査依頼の審査および認可について
九州大学小児外科 田口智章先生から「Hirschsprung 病類縁疾患の現状調査と診断基準に関するガイドライン作成」に関する調査結果報告書のホームページ掲載依頼があり、一部修正の後 9 月 12 日付けで承認しホームページに掲載した。
- ・『腸回転異常症術後の再軸捻転についてのアンケート調査』を計画している。その一環として平成 25 年度の文部科学省研究費補助金に申請書を準備中である。

(7) 小児救急検討委員会報告

松藤担当理事より、以下の通り報告、提案され、承認された。

- ・第 2 回小児救急セミナープログラムが資料に基づき報告され、了承された。
- ・日本小児救急医学会理事長 市川光太郎先生より、日本小児救急医学会と本会が監修して作成・刊行した「小児救急のストラテジー」の WEB 化について諾否確認の依頼があり、審議の結果、承認された。

(9) データベース委員会

前田担当理事より、以下の通り報告された。

- ・NCDデータの国会専門医制度への活用が2012年度から施行されることを各認定施設代表責任者通知したことが報告された。
- ・東京大学岩中先生から『小児外科領域』の主たる 4 疾患の全国症例数のNCDを利用した実態調査について、資料に基づき報告され、了承された。

(10) ワークライフバランス検討委員会

窪田担当理事より、以下の通り報告された。

- ・ワークライフバランスの実態、各施設でのキャリア継続支援の現状を把握するために日本小児外科学会会員を対象に行うアンケート調査につき、アンケート集計に関して 10 月末日を期限として、回答も原則電子メールで返信して頂き、委員が分担して集計・解析に当たる。ただし、守秘性（匿名性）への対応として、回答の返信先を学会事務局とし、学会事務局から担当理事宛てにファイルを転送するシステムにより匿名性を保持する。なお、この点をアンケート依頼文に明記した。
- ・アンケートタイムテーブルは 2013 年 2 月頃にアンケート結果の集計・解析結果のとりまとめを行い、2013 年 5 月にアンケート結果の報告とそこから得られた結果をもとにした提言の報告をする予定である。

7) 専門医制度認定委員会報告（前田施設認定委員会委員長）

前田施設認定委員会委員長より、以下の通り報告・提案され、承認された。

- ・2014年1月より外科学会の専門医制度と認定期間を一致させる必要がある。このため、サブスペシャリティー（小児外科専門医制度）の認定期間の延長あるいは短縮等の調整が必要である。これに伴い認定期間、専門医施設認定医委員会の開催の時期の変更が必要になる。タイムスケジュール案については、委員会に継続審議事項となっている。
- ・NCDと年次報告の症例数の整合性については、ほぼ一致しているが、新生児手術あり症例数と手術総数が逆転している施設があり、不合理が認められる施設がある。不合理の原因の検証が必要である。そのため、新生児症例の少ない施設では、認定の可否に影響するため年次報告に症例の詳細を書き添えて提出して頂くこと、またNCDデータ入力のもれのないことを各自各施設で確認を徹底させること等の工夫が必要と考える。

なお、NCDと年次報告のデータを施設名を伏せて公開し、注意を喚起する等の案も出された。

8) 選挙管理委員会報告（小室選挙管理委員会委員長）

小室選挙管理委員会委員長より、以下の通り報告・提案され、承認された。

- ・第21回評議員選挙（電子投票）に関する全会員へ通知案が、資料に基づき提案され、承認された。なお、郵送での通知だけでなくメール配信によっても周知することとなった。
- ・ホームページのトップページへ電子投票のリンクを掲載する際に分かりやすく明示する方法として、リンクバナーを点滅させることが提案され、承認された。

9) 次回定例理事会の日程の確認について

次回理事会は平成25年1月10日（木）11：00～16：00日本外科学会会議室にて開催することが確認された。

理事長 _____

理 事 _____

理 事 _____